

所 属	教育委員会 教育財務課		
担当(係)名	施設担当	内線	3560

高等学校校舎の耐震化

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
2,516,858	国庫 12,075	委託料 136,958
【9月補正後2,688,804】	県債 2,229,900	工事請負費 2,353,209
(前年度 2,652,804)	一般財源 274,883	事務費 26,691

2 背景・現状

中国四川省大地震や岩手・宮城内陸地震の発生を受けて、公共施設とりわけ学校施設の耐震化について高い関心が寄せられている。

3 事業目的

老朽化した校舎等の施設整備及び改修を実施し、生徒にとって安心して学習できる施設環境を整備するため。

4 事業内容

- ・改築事業にあたっては、「木の国・山の国」岐阜県にふさわしく木造・木質化（内装に木材を使用）を実施し、可能な限り県産材を活用。
- ・改築を予定していた耐震性の低い校舎について、平成22年度までにひとまず「補強」による耐震化を前倒して実施する。
- ・前年度実施の補強計画に基づき耐震補強の実施設計を行い、一部工事に着手する。

主な事業	対象学校名など
老朽校舎の改築	〔継続〕岐阜、岐阜北、岐阜工業、武義、恵那、中津 〔新規〕なし
耐震補強の実施 (対象10校12棟)	〔対象学校名〕 岐阜総合学園、本巣松陽、羽島、加茂、可児工業 多治見工業、瑞浪、土岐紅陵、中津川工業、 高山工業 〔耐震化スケジュール〕 平成20年度 補強計画 平成21年度 実施設計、一部校舎の工事着手 平成22年度 残り校舎の工事着手 耐震化完了

(款)10 教育費 (項)4 高等学校費 (目)(4)学校建設費
(明細書事業名) 公共事業・単独事業
高等学校建設事業費